小倉御坊 永照寺だより

Vol.229
2023年5月

御坊（ごぼう）とは、本山の別院、またはこれに準ずる寺院の称（真宗新辞典より）

浄土真宗本願寺派 小倉御坊
永照寺
http://www.eishouji.or.jp

お寺の掲示板

花見事に咲きぬ
誇りもせで
やがてうつろいぬ
つぶやきもせで

〈掲示月〉2023年（令和5年）4月

お寺の掲示板には住職・前住職が「毎月」言葉を書いています。通りがかりの人がメモをしたりしていますが「意味を教えてもらいたい」と、たずねられることもありますのでこの「お寺の掲示板」のコーナーでお伝えしていきたいと思います。

今月のことばは、柳宗悦（むねよし）さん（一八八九～一九六一）の『心偈（こころうた）』からです。

私は病中、多くの人々から花を贈られた。その美しさも、私の眼を慰めてくれたが、そこに宿る真理は、さらに私に教えてくれた。どんなに美しくとも、自ら誇らぬ花は、やがてうつろいて枯れてゆくが、一言もつぶやくことがない。人間の生活も、このように坦々たる花々にあやかりたいではないか。花は散り、人は死す。花は静かに散る。ただ散る。人も何とかこんな散り方をしたい。後日さらに一偈

「花散りぬ、ただ散りぬ、事もなし」

浄土真宗の教義は、「阿弥陀如来の本願力によって、信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき、浄土に生まれて仏（ぶつ）となり、迷いの世に還って人々を教化（きょうけ）する」とあります。

南無阿弥陀仏の教えは、いのち尽きたとき、浄土に生まれる人生です。

俵万智（一九六二～）さんが、こんな短歌を詠んでいます。

散（ち）るという
飛翔（ひしょう）のかたち
はなびらは
ふと微笑（ほほえ）んで
枝を離れる

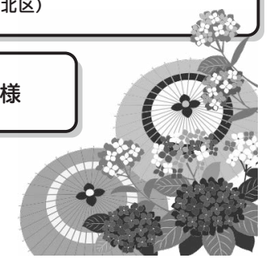
必ず終わりのある、いのちですが、この世の縁が尽きるとき、浄土に生まれて仏となる教えの中に、生かされていることを味わっています。

宗祖命日
2023年4月の参拝者
14名　順不同：敬称略

茶屋本 廣喜（小倉南区）	増田 和久（小倉南区）	森下 勝美（小倉北区）	延吉 政彦（小倉南区）	本多 義宏（門司区）
﨑田 元信（小倉南区）	天神 正行（小倉南区）	天神 光介（小倉南区）	岡本 隆夫（小倉南区）	古野 貞幸（小倉南区）
池本 周司（小倉北区）	池本眞理子（小倉北区）	山口 綾子（小倉北区）	千葉 登美子（小倉北区）	

永代経懇志御礼 順不同　伊藤 節子 様　古本 利彦 様　兒玉 美惠子 様

懇志御礼　行徳 雅子 様



5月の行事予定

16日（火）宗祖命日
- 7時からのお朝事はお休みです。
- 10時から法要の朝座に皆様と一緒にお勤め致します。

18日（木）婦人会例会
- 5、6月とお休みです。

6月の行事について

6月は小倉組仏教婦人会の総会があります。
会員の皆様は是非お参りください。
会員以外の方も聴聞ください。

日　時	6月21日（水）13時～
講　師	宮武 大悟　師（広島 西念寺）
場　所	永照寺本堂

お知らせ

- お経本は床に置かないでください。
- 毎月16日は親鸞聖人命日（おあさじ）にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。（特にお寺で法事をする場合）

永照寺　開門・閉門の時間
- 開門…6時30分
- 閉門…18時

行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。
https://www.eishouji.or.jp/
北九州　永照寺　検索
▲モバイル用

永照寺:住職のブログ
【凡愚庵（ぼんぐあん）】も合わせてご覧いただければ幸いです。
（左記のホームページ内に移転しました。）

小倉御坊　永照寺だより
2023年5月号（第229号）2023年5月1日発行
福岡県北九州市小倉北区大手町16-16　永照寺　TEL：093（582）7676　FAX：093（591）4989
【郵便振替口座番号】01790−4−46276　永照寺志納所

2023年 永照寺引上会報恩講のご案内

【期　日】

※ 1座1時間半程度と考えています。

5月14日（日）	5月15日（月）	5月16日（火）
朝 10:00～ 昼 13:30～	朝 10:00～	朝 10:00～

※ 15日の昼座は小倉組仏教壮年会の総会を行います。
16時位からご法話が始まりますので、どうぞ聴聞してください。

【講　師】

お斎の接待はありません。

本願寺派司教、龍谷大学准教授

井上 見淳 師（飯塚市）

どうぞお時間を作ってお参りください。

懇志袋は複写式の為、ボールペンで**強く**書いてくだされば助かります。
（封筒は受付にも用意しています）

引上会報恩講懇志（随意）と本願寺門徒講（1000円）を合算して、先月号（4月号）に同封の懇志袋にて上納くださいませ。

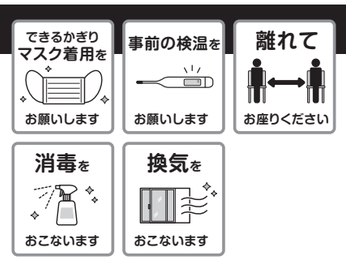
※ 5月はゴールデンウィークの影響で発送が遅れる可能性がありますので
封筒は先月号（4月号）に同封しています。
お寺にもご用意がありますので無くされた方もご心配なく。

※ 本願寺門徒講とは、本山西本願寺に納める賦課金のことです。
皆様からお預かりしたものをとりまとめて上納しています。

●引上会（いんじょうえ）　本山における御正忌（旧暦十一月二十八日、太陽暦一月十六日）より前に予修する報恩講です。

●報恩講（ほうおんこう）　親鸞聖人の命日をご縁に私がお念仏に出遇ったことを喜びつとめる仏事です。

下記の感染対策をして法座を開催します。



※ できるかぎりマスクの着用をお願いします。
※ 事前に検温をお願いします。
※ 37度以上ある場合は参拝をご遠慮してください。
※ 本堂距離を保ち椅子を並べます。
※ アルコール消毒、1座ごとに堂内消毒、換気を徹底します。

親鸞聖人ご誕生850年
立教開宗800年慶讃法要ご報告

4月15日、16日京都の西本願寺に参拝してきました。
初日慶讃法要、2日目は仏教壮年会の全国大会でした。
帰山して初めてお朝事のお勤めを自坊で出来ませんでしたが、
本山で参拝者の方と一緒に『正信偈』をお勤めさせていただきました。
今回の慶讃法要はコロナ禍ということと
小倉組の参拝日が引上会報恩講と重なったこともあり、
ご門徒の皆様への案内は致しませんでした。どうかご容赦ください。
もし、お参りしたい方がおられましたら西本願寺にお問い合わせの上、一般参拝されてください。

法要日程の詳細は本願寺のホームページをご覧ください

このような大きなイベントへの参拝も日常と違う趣もあり楽しいものです。
しかし一番大切なのは浄土真宗のおみのりを聴聞することではないかと思います。
年３回の法要では住職が是非聞いてほしいという先生に出講していただいています。
今回の5月14、15、16日引上会報恩講では、堅実にお実りを学ばれて、
皆様にわかりやすいようお話してくださる井上見淳先生にお越しいただきます。
親鸞聖人のご遺徳を偲びながら、今、ここにある阿弥陀さまの救いを
皆様で聞かせていただきましょう。